

# 横浜の運河

変わる役割と町並み

2025年6月21日(土)  
～7月13日(日)

横浜市開港記念会館  
地下1階 展示エリア

観覧無料

主催 神奈川大学非文字資料研究センター  
共催 横浜市開港記念会館

合同企画展

協力 横浜都市発展記念館 / 問い合わせ：神奈川大学非文字資料研究センター  
(himoji-info@kanagawa-u.ac.jp)



江戸末期の開港以降、横浜ではいくつもの運河が生まれ、人々の生活を支えてきました。一方で、時代の移り変わりの中で運河の役割は変わり、消えゆく運河もあれば、新たな装いを見せる運河もあります。本企画展では先に神奈川県で開催した「非文字資料から見る横浜の運河」展の内容をベースに展示物をより

充実させた展示を行っております。明治から昭和にかけての古地図や 1970年代に関内・関外地区の定点観測を行った神奈川県高木幹朗研究室によって撮影された写真を通じて、かつての横浜の姿に目を向けてみます。地図や写真といった「非文字資料」を通じて横浜の運河の魅力を再発見してみてください。

### 関連企画

#### ■ ミニ講演会

- 第1回：6月22日(日)11:00～12:00  
中林広一(神奈川県立横浜国立大学国際日本学部准教授)  
「地図の中の運河」
- 第2回：6月22日(日)14:00～15:00  
金丸壽男(非文字資料研究センター研究協力者)  
「高木フィルムが映す 横浜・運河の変容」
- 第3回：6月27日(金)12:00～13:00  
山口太郎(神奈川県立横浜国立大学国際日本学部准教授)  
「水路観察【入門編】」
- 第4回：7月5日(土)11:00～12:00  
松本和樹(横浜都市発展記念館調査研究員)  
「高木フィルムに見る運河と船(はしけ)」

#### ■ 運河クルーズ

大岡川・中村川をフェリーで巡り、普段とは異なる運河の姿を目にする貴重な機会です  
日 時：6月29日(日) 14:00～15:30  
集合場所：ピア象の鼻  
参加費：2000円  
申込方法：参加申し込みフォーム →  
(右のQRコードよりお申込みください)



会 期：2025年6月21日(土)  
～7月13日(日)

\*7月9日は休館日のため閉室します

開室時間：10時～17時

会 場：横浜市開港記念会館  
地下1階展示エリア

〒231-0005 横浜市中区本町1-8

TEL 045-201-0708

